

# ほけんだより

5年生特別号

下作延小学校 保健室



## 「けがの手当て」の授業を行いました

保健の授業で、「正しいけがの手当て」について学習しました。

はじめに、下作延小学校で起きているけがの件数や多いけがについて紹介したところ、思っていたよりもけがが多いことに驚いている様子が見られました。



すり傷・切り傷・打撲・鼻血・やけどの5つを取り上げ、グループごとに「自分でできる正しい手当ての方法」と「なぜその手当てが大切なのか」を考えました。

授業を通して、けがを悪化させない・早く治すためには、自分でできる正しい手当てをすることが大切であることを学習しました。また、体が持っている自然治癒力を高めるためには、規則正しい生活を送ることも大切であることを伝えました。さらに、大きなけがをしたときには、無理に動かさず、大人に助けを求めることについても確認しました。

### 児童の感想・ふりかえり

- 鼻血を止めるときに、いつも上を向いていたので、下を向かなければいけないことに驚きました。
- 水ぶくれが「最強のばんそうこう」だと知って、これからはつぶさないようにしたいと思いました。
- 消毒は自分の直そうとしてくれる細胞も傷つけてしまうということを初めて知りました。今度すり傷をしてしまったときは、水で傷口をきれいに洗おうと思いました。
- けがをしたときの体の中でおこっていることを勉強して、人間の体ってすごいと感じました。
- 今までは何となく手当てをしていたけど、「なんでその手当てが大切なのか」を勉強できたことで正しい手当てを自信をもってできると思いました。
- 友だちや家族がまちがった手当てをしていた時は、今日学んだことを教えてあげたいと思いました。
- 自然治癒力を高めるために、毎日の食事・運動・睡眠を意識して生活していきたいと思いました。

けがの手当てについて学習することは、自分の体を大切にすることにつながっていると考えています。けがをしたときには、今回の学習で学んだことを思い出し、自分の体を守る行動につなげていってほしいと思っています。ご質問等ございましたら、保健室までご連絡ください。